

### ① 県庁舎建設中

大正 5 年竣工の旧県庁舎の老朽化・狭隘化等のため新たに建設することとなり、歴史遺産や豊かな緑に囲まれた同地に昭和 56 年着工、同 59 年 15 階建てで高さ約 69m、萩焼風の枇杷色の外観をもつ新県庁舎が竣工、祝賀行事として市民 1 万人の提灯パレードが行われました。同年旧県庁本館と旧県会議事堂は国の重要文化財に指定され、県政資料館として保存されることになりました。

### ② 県警察本部

昭和 29 年県警察制度が発足し警察本部を設置、同 34 年庁舎が新築されました。同 40 年交通問題の深刻化に対処するため交通部を新設。平成 2 年新警察棟が竣工しました。

### ③ 国道 9 号バイパス

自動車の普及に伴い中心市街地、湯田温泉を通る国道 9 号では渋滞や交通事故が頻発、バイパスを建設することになり昭和 50 年度着工。57 年県庁前 - 吉敷木崎間が部分開通、平成 5 年県庁前 - 西桜畠間が開通、同 7 年宮野上 - 朝田間 11.3km が全線開通し、従来の国道 9 号は県道 204 号に。同 12 年 4 車線全通。アクセスが向上し、周辺の施設建設や道路整備も進められ、山口市の大動脈として経済・くらしを支えています。

### ④ パークロード

昭和 48 年県立山口図書館新館が、同 54 年県立美術館が開館した文化ゾーンを貫き、同 55 年完成しました。歴史を刻んできた道筋は幅 40m に拡幅され、1 万本の街路樹は四季折々の彩りを見せます。同 62 年「日本の道 100 選」に選ばれました。

### ⑤ 県庁分庁舎

県庁舎が手狭になり、山口大学移転後の旧文学部校舎に設置。教育庁や住宅供給公社等が置かれました。平成 19 年頃解体。

### ⑥ 公設市場

国道 9 号改修工事にあわせ、昭和 37・38 年にかけて中河原に 5 階建の市営アパートが完成、1 階には公設市場・川端市場が入り「市民の台所」として親しまれました。平成 23 年商店街にオープンしたマルシェ中市に市場機能を引き継ぎ閉店、同 27 年跡地に一の坂川交通交流広場がオープンしました。

## 航空大写真集 空から見たやまぐち

昭和 57 年 (1982) (大和書房発行)

山口県立山口図書館蔵

